



第203回ギャラリー展

サッカーも始まり野球のオープン戦も始まる春の到来です。
厳しかった寒さに耐えそろそろ桜の開花をまつ想いがかなう日々まで
あと幾日でしょう。

第203回ギャラリー展は古の魅力として荒尾市在住の村石一成様のご協力により現代陶芸作家の作品を展示いたします。

古くから伝わる奈良の名刹の南七寺の瓦模様を模した皿を中心に古代瓦写し皿など17点、色絵皿など4点、その他徳利・猪口など3点の全21点を展示します。

赤膚焼の古代瓦写しは東大寺・興福寺・西大寺など奈良名刹の七寺の瓦模様を写した作品で作家尾西楽齋の手による大変珍しく鑑賞にたえる作品です。

その他

色絵薄墨珠樹文額皿	今泉今右衛門
色絵松竹梅飾皿	三井為吉
織部刻絵皿	梅村晴峰
象嵌角皿	島岡達三
徳利	藤原啓
金襴手猪口	吉田美統

の作品を展示しております。お楽しみください。

第203回ギャラリー展

古の魅力
現代陶芸 展

平成26年3月10日～4月11日